取扱説明書

富士ミニUPS Jシリーズ（1kVA/1.5kVA）

EIA規格19インチラックマウント用アタッチメント

形式 ： RRAK010A

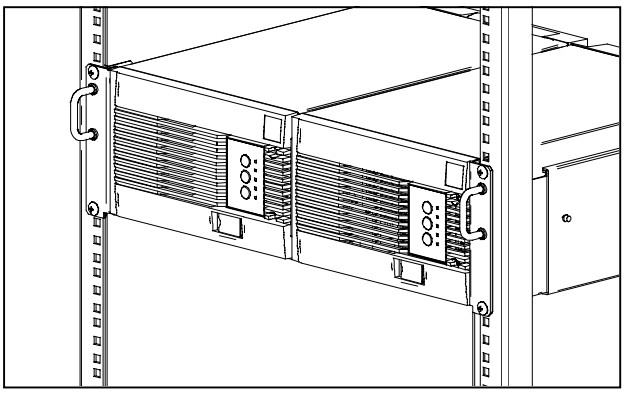
富士電機システムズ株式会社

INR－HF５２０３２

ま え が き

本製品は、M－UPS010J11W□及びM－UPS015J11W□用EIA規格19インチラックマウント専用アタッチメントです。

本製品は、前後フレーム間寸法500～760mmの19インチラックに取付可能です。



⚠注意
・ UPSは重量物なので、その重量に十分耐えうるラックを選定し、できるだけラックの下段に搭載してください。
・ UPSの前面及び背面には十分な換気用のスペースを確保してください。

ハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用等の一般的用途を想定して設計･製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持装置、核兵器発射制御など、きわめて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命･身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計･製造されたものではございません。お客様は、ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品をハイセイフティ用途に使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

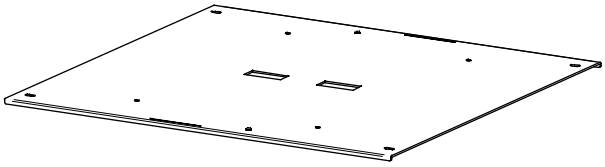
目　　次

まえがき ・・・

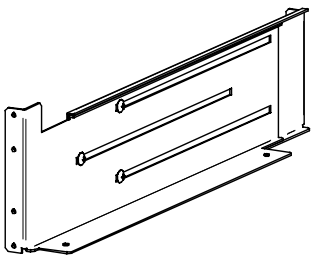
Ⅰ. 添付部品

取り付けの前に、以下の部品がすべて同封されているかご確認ください。

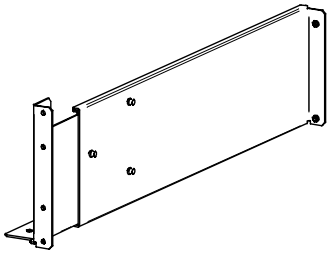
① トレイ　1個



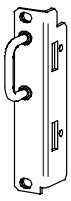
② レール(左)　1個



③ レール(右)　1個

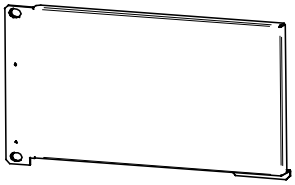


④ 取手(左)　1個

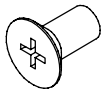


⑤ 取手(右)　1個

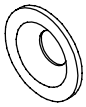
⑥ カバー　1個



⑦ サラネジ　8本
M5x10

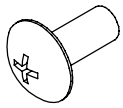


⑧ 座　8個



⑨ トラスコネジ　2本
M4x5

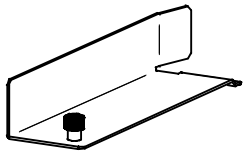
⑩ トラスコネジ　8本
M5x12



⑪ 警告ラベル　1枚

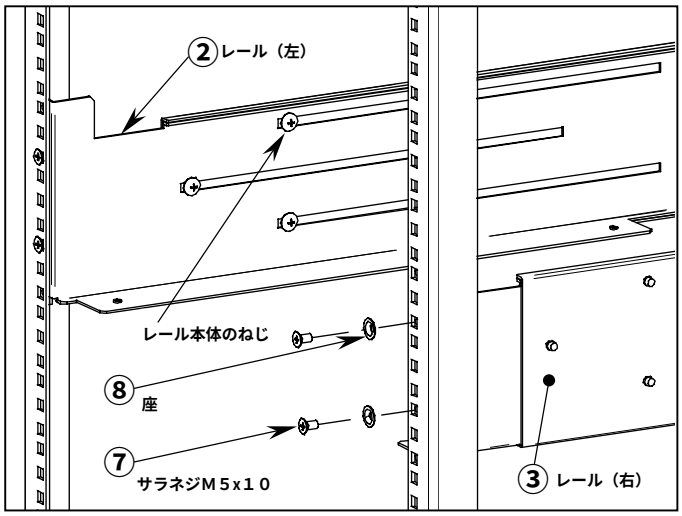
※ ⑪警告ﾗﾍﾞﾙは、見やすい位置に貼っておいてください。

⑫ 固定金具　1個

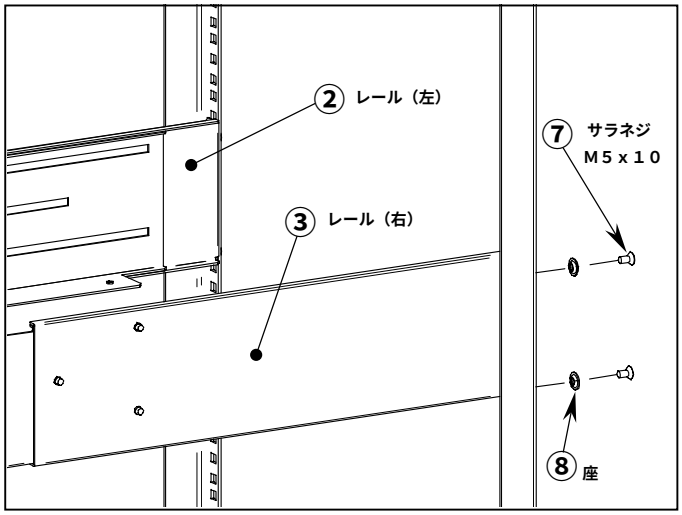


Ⅱ．取付要領

Ⅱ－1．レール取り付け１（□ 9.5mm 程度の角穴の場合）

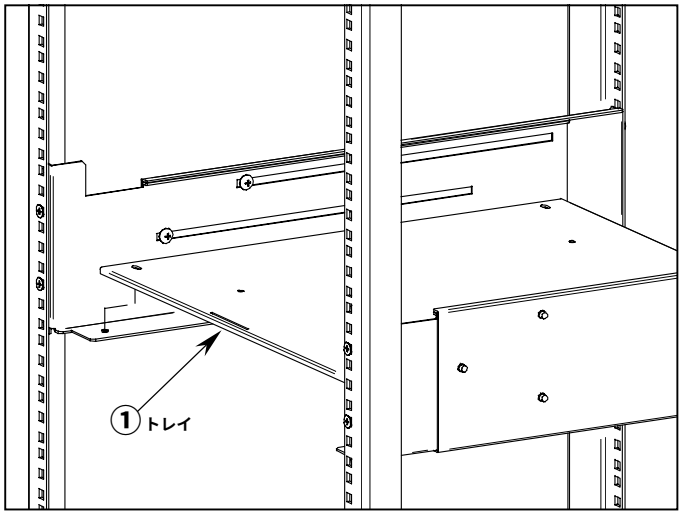


⑴　ミニＵＰＳを収納する１９インチラック前側のフレームに、レール（左）②及びレール(右)③を付属のサラネジＭ５×１０⑦と座⑧にて固定してください。



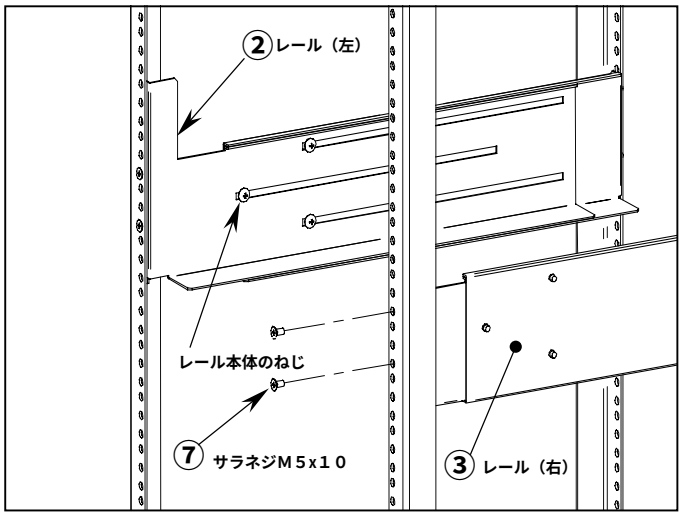
⑵　レール本体のねじをゆるめて、レールの長さを１９インチラックのフレームに合わせた後、⑴と同様に付属のサラネジＭ５×１０⑦と座⑧にて固定してください。

⑶　レール本体のねじを締め、レールの長さを固定してください。

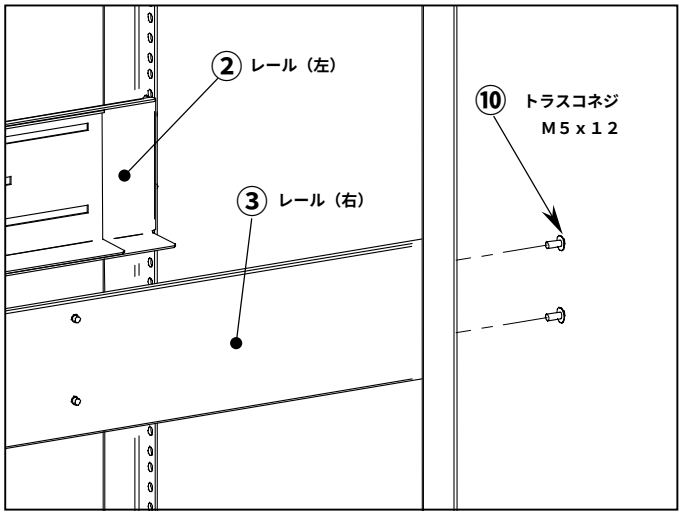


⑷　固定したレールの上に、トレイ①をのせてください。

II－2．レール取り付け2 （φ7mm 程度の丸穴の場合）

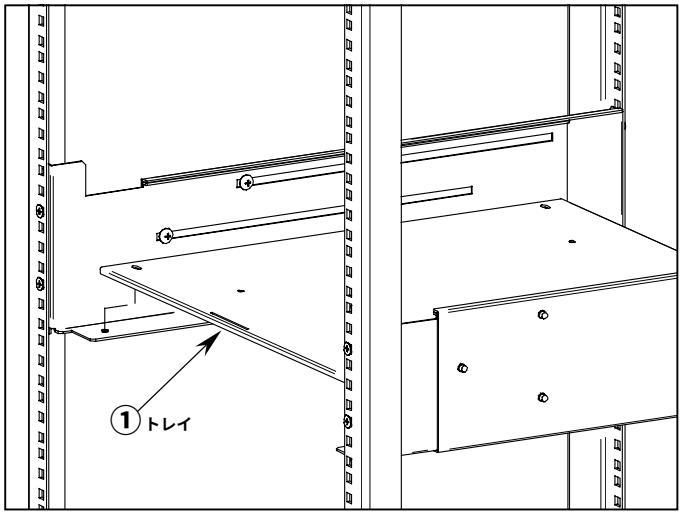


⑴　ミニＵＰＳを収納する19インチラック前側のフレームに、レール（左）②及びレール(右)③を付属のサラネジＭ５×１０⑦にて固定してください。



⑵　レール本体のねじをゆるめて、レールの長さを19インチラックのフレームに合わせた後、付属のトラスコネジＭ５×１２⑩にて固定してください。

⑶　レール本体のねじを締め、レールの長さを固定してください。

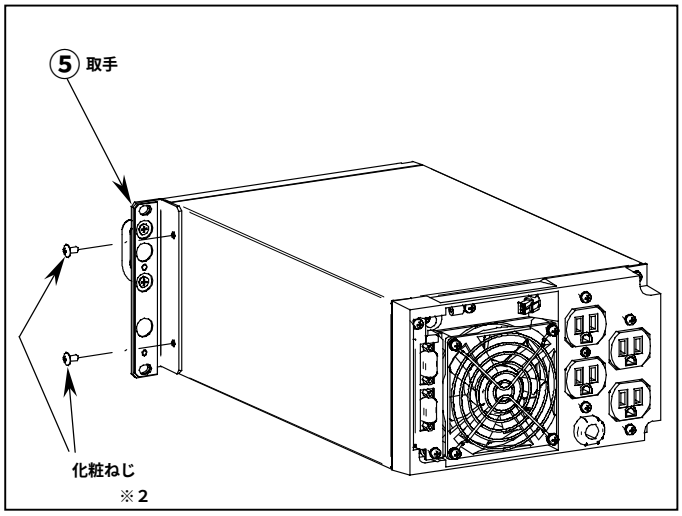


⑷　固定したレールの上に、トレイ①をのせてください

Ⅱ． 取付要領

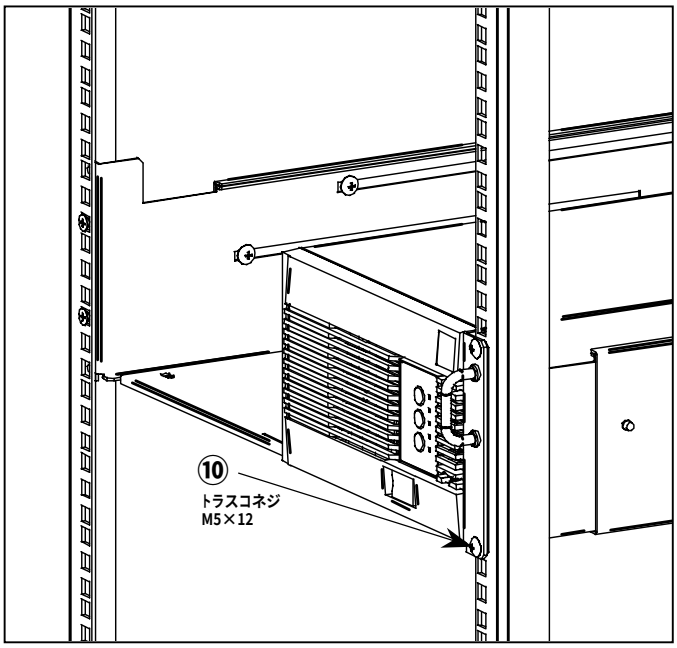
Ⅱ－3．ミニUPSの収納

Ⅱ－3－1．ミニUPS1台目を収納する



(1) 収納するミニUPSに取手⑤を取り付けてください。

※2 ミニUPSに付いている化粧ねじをはずして、そのねじを使用して取り付けてください。



(2) 19インチラックの前面からミニUPSを収納し、前側のフレームに固定してください。

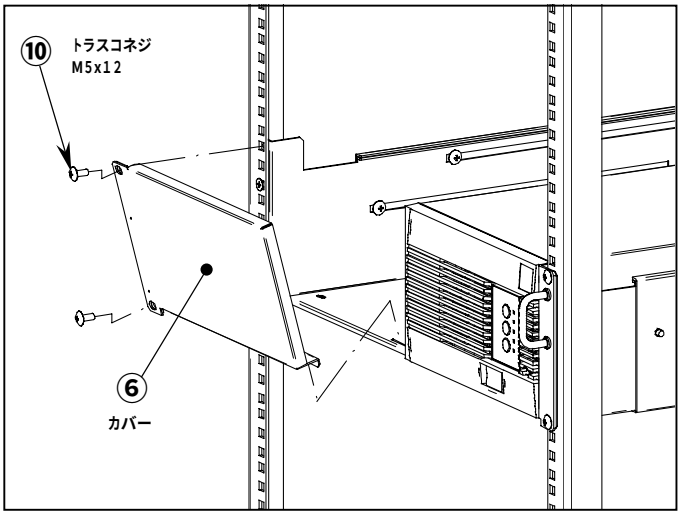
(付属のトラスコネジ M5x12⑩を使用してください)

危険

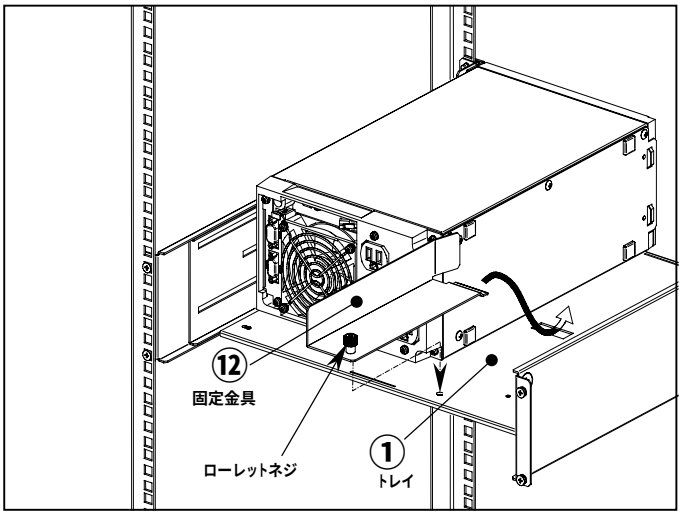
- バッテリの液漏れによる装置の故障や火災のおそれあり。
- 本装置は左図に示す様に正面からみて右側へ倒した方向で収納してください。

Ⅱ． 取付要領

※下記(3)、(4)の作業はミニ UPS を 1 台のみ設置する場合に行なって下さい。
ミニ UPS を 2 台設置する場合には、次ページ『Ⅱ－3－2、ミニ UPS　2台目を収納する』に進んで下さい。

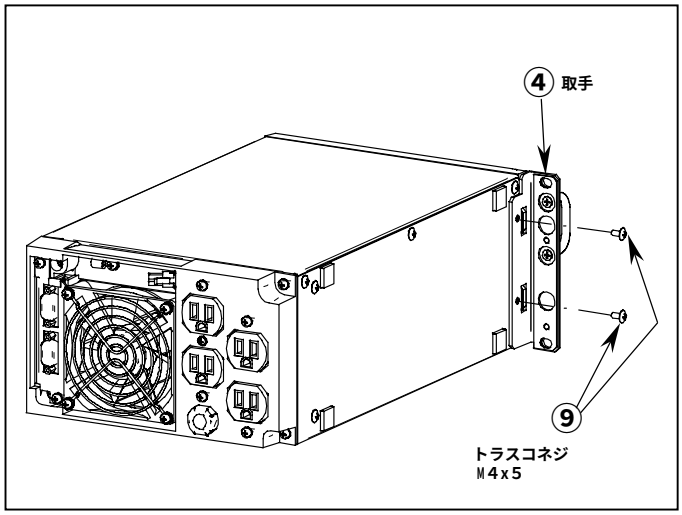


(3) 付属のトラスコネジ M5×12⑩を使用して、カバー⑥を取り付けて下さい。



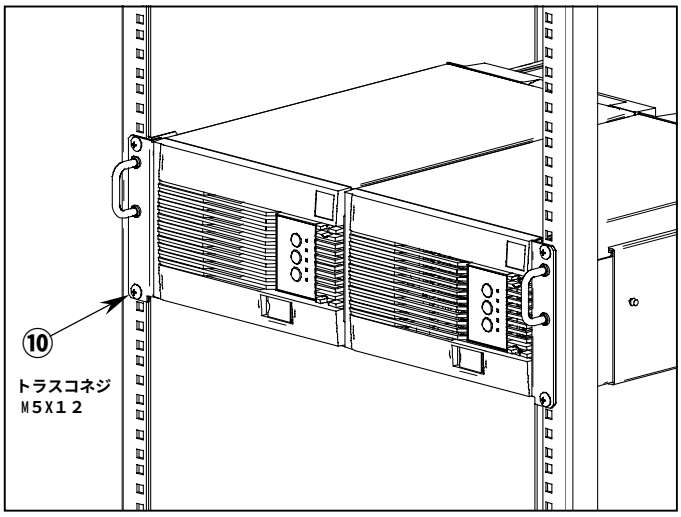
(4) トレイ①の穴に固定金具⑫をはめ込み、固定金具⑫に付属のローレットネジでトレイ①と固定金具⑫を固定して下さい。

Ⅱ－3－2． ミニUPS2台目を収納する



(1) 収納するミニUPSに取手④を取り付けてください。

(付属のトラスコネジ M4x5⑨を使用してください)



(2) 19インチラックの前面からミニUPSを収納し、前側のフレームに固定してください。

(付属のトラスコネジ M5x12⑩を使用してください)

⚠ 危険

- バッテリの液漏れによる装置の故障や火災のおそれあり。
- 本装置は左図に示す様に正面からみて右側へ倒した方向で収納してください。